

三尾
重定
編輯

新編
小學讀本
第六

178
4
93

大日本教育會館			
三	二		
九册	五號	三架	六函

K121.8
68a
6

三尾重定編

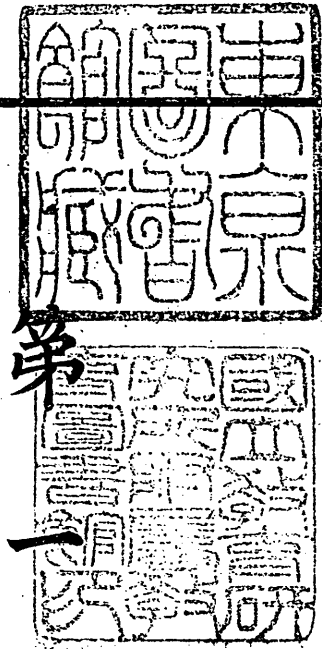
新編小學讀本第六

東京 教育書院藏

昭和二十年二月四日 内務省文部省 1945

新編 小學讀本第六

三尾重定 編



て。専良士を養成せんとする
 學校ハ。人に學藝智能を授け

新小學讀本

第六

教養書院

所なり。されむ幼童。六七歳小
至まば。必六の學校に入り。謹
で教を受け。家に歸らむ。先づ
其學び來る所を。以く度も復
習すべし。然む其學。やうやく
す。みて。身を立て。家をたふ

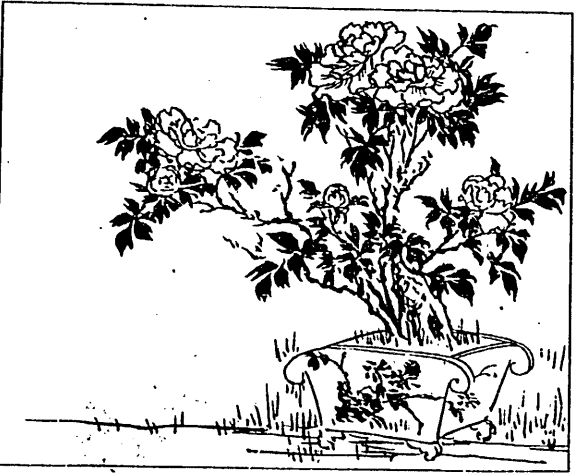
むに至るべし

幼稚ノ時ヨリ。ヨク學ビテ。ソ
ノ身ニ智徳ヲ。ソナフル時ハ。
他日カナラズ。トミ榮エテ。ソ
ノ娛ミヲ極ムベシ
ソノ智ヲ研キ。徳ヲ脩ムルニ

ハ。ユダシナク勉強シテ。功ヲ
積ムニアラザレバ。決シテ成
就スルコトナシ

たとへむ。鉢に牡丹をうゑて。
うつくりしき花の。咲んことを
思ふよ。秋冬の。あるよ。あ

まに培ひ。養ひざるを得ず。園
の。木の。多くよま
實を。むさばん。あ
とを希ふよ。春
夏の頃よ。是に
肥を。ほどあさい



るべからば

何ホド生ジヤスキ。草木ニテ
モ。又キトリ來リテ。其マ、地
上ニ。棄オキテハ。ソノ花ヲヒ
ラキ。ソノ實ヲムスブ。モノニ
アラズ

以かに天性。英敏なる。小兒も
ても。師のを一へに。よらざれ
を。智徳を脩め。藝能も達する
も。少なり

第二

學校にてい。けいこの時間と。

遊びの時間あり。稽古の時も
ハ。一心に勉強して。まゝいそ
ゆだんす。慮からず
家にかへ。里ても。遊戯の志と
にのみ。心を入れて。むなしく時
をバ。過ま。慮あらざ。光陰ハ矢

のぶ。や。一たび。まぐ。ま。ば。か
へら。ざる。もの。なり
明日アリトテ。益ナキコトニ。
其日ヲツヒヤシ。來年アリト
テ。其業ヲ怠リ。其歳ヲバ。オク
ルベカラズ

陶淵明。トイヒシ人ノ詩ニ
盛年カサネテ來ラズ。一日再
晨ナリ難シ時ニ臨デマサニ
勉メ勵ムベシ。歲月ハ人ヲマ
タズトイヘリ

第三

春すぎて。夏きたり。花ハちり
て。青葉とまき里。蟬ハ樹頭に
なまき。魚ハ水中にあそぶ
木々ハのきはふ。茂りあひ。亦
以後くの實をむまべり
オヨソ。クダモノハ。小兒ノコ

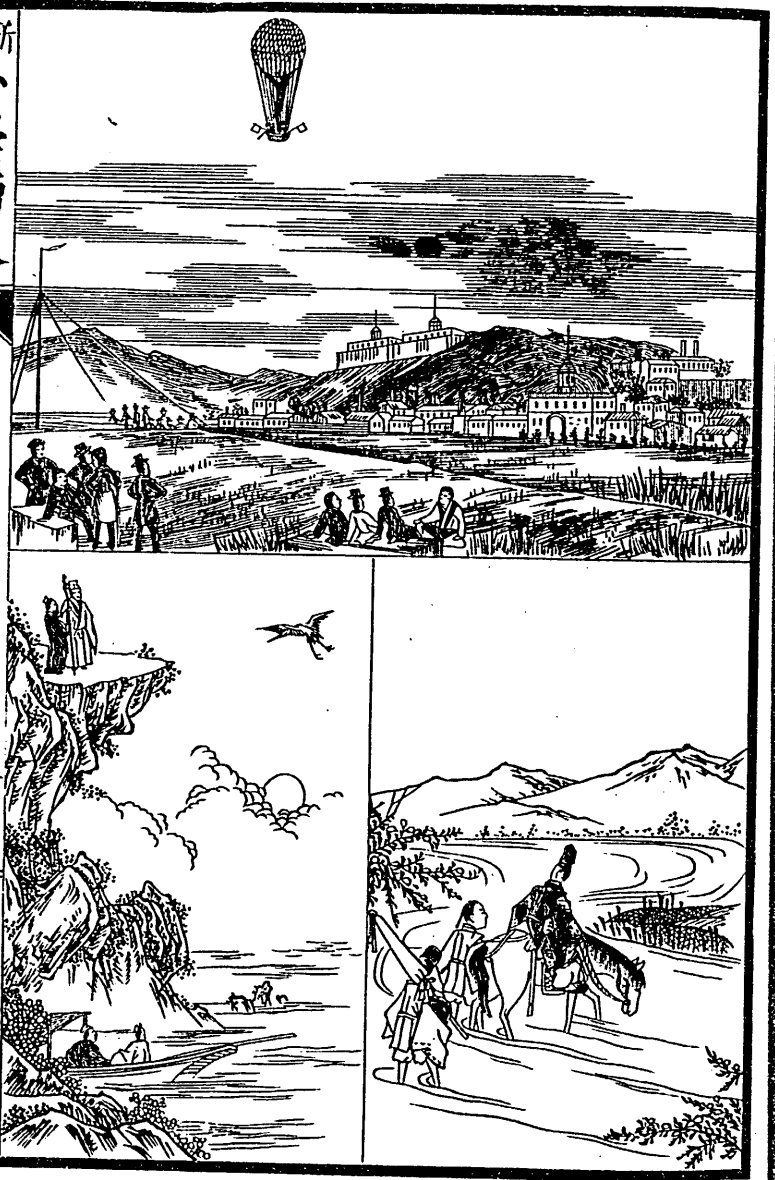
ノム物ナレドモ。多クハ食フ
ベカラズ。ワキテ。未熟セザル
物ハ。口ニ入ルコト勿レ

虎列刺病ハ。夏の日に多シ。其
おこる由也。十に八九ハ食物
な里。一たび此病にかゝる時

ハ。たちまち傳染蔓延して。多
くの人の命をも。うゝなふも
のなきは。深くおそれつゝ。
む慮

今日ハ。アツキ日ナリ。空ニハ。
一點ノ雲モナク。風モマ夕吹

キタエタリ
 赤、に。扇三本あり。何の圖を
 急がきたるや
 一ッハ。井手ノ玉川ノ圖ニシテ。
 俊成三位ノ馬ニテ渡リタマ
 フ所ノ風景。一ッハ漢土ノ山



新小學讀本 第六

新小學讀本 第六

水ヲウツシテ。東坡ガ赤壁ニ。舟ヲ泛ベシサマ。今一ツハ。風船ノ圖ナリ。フランスノ某。ハジメテコノ風船ヲツクリテ。放チ試ミタル所ニシテ。イヅレモ涼シキ。景色ナリ

第四

多くの人馬にのりて。はせゆきたり。彼レハ。以かなる人ふて。又いふある所へ。ゆくものなるや
是ハ。兵士ナリ。故ニ隊ヲナシ

テ。練兵場へ。至ルナリ
わきさまよ。兵隊を見たり。志
かるに。其士。みまかち立に
て。馬ふの。里と。は人あらず。今
志の兵士。志やぐく馬にのれ
るハ。何ゆるゑぞや

オヨソ兵ニハ。騎兵。歩兵。炮兵
アリテ。又別ニ。工兵。輜重兵ト
イフ者アリ。汝サキノ日。見夕
ル者ハ。歩兵ナリ
汝モ亦。馬ニ乗ント欲スルカ
○我馬よのる志とを好むと

以へど。毛たじに。馬なまのみ
あらず。乗べきまはべも。知らざる
志せに。くるゝむな里
汝。ウレフルコト勿レ。官ニハ。
徵兵令アリ。汝丁年ニ至ラバ。
メシニ應ジテ。入隊スベシ

然ドモ。文武ハ。車ノ兩輪アル
ガ如ク。一モカクコト。能ハサル
故ニ。日々學校ニユキ。勉メ励
ミテ。文學ヲ脩メ。時ノイタル
ヲ。待ッベキナリ

第五

學校よてい。いけんはどまじり
たりや
いハク。然り
汝い今。何年級なるまじや
第二年級ナリ
今日。試験をうけこる科目い。

何々なるぞ
讀方ト。作文トナリ
その書物い。何なるまじや
新編小學讀本ナリ
モトヨリ覺悟ノ事トハイヘ
トモ。其質問ニ心オクレテ。一

時ハ思ヒモ定マラザリシガ。
須臾ニシテ意オサマリイサ
サカヨドム所ナク。問ニ應ジ
テヨミ果タリ
マ夕。作文ハ。記事ニシテ。題ハ。
蜈蚣ト鰻ナリシガ。コレ亦即

時ニツクリ來レリ
汝以ふ所の如くならば。必ま
さに。登級せよべし
よの常の登級也。その一等を
すむべし。志かれども。試験
のかずくをぐるゝ。必まの。二

級を進む。例もあれを。一心に
志まきを受くべし

第六

次ニ出セル圖ハ米ヲ作ルニ
種ヲ蒔クヨリ。蒔リ收ルマデ
ノ業ヲ寫スモノナリ



新編 小學讀本 第六

米ハ。五穀ノ中ニアリテ。第一ノモノナル故ニ。コレヲ作りテ。取り入ルコトモ。亦タヤスキ業ニアラズ。其苗ヲソダツルニハ。マヅ冬ノ日。耨ヲ俵ニイレ。池水ナド

ニ。沈メオキテ。後。ヒキ揚テ。日ニサラシ。春ニ至リテ。ヤ、芽ヲ出シタルトキ。苗床ニ。コレヲ蒔クナリ。是ヲ苗代ト云。ソノ芽。三四寸モイデタル時。カネテ耕シオキタル田ニ。移

シウエテ。肥ヲ入レ。草ヲ耘ル
コト。五回ニ至ル。是ヲ五番グ
サトイフ

春もまき。夏もくれ。秋まゝ末
よ。なまぬる。米ぬ。稲のほき。ば
みて。垂れふまをみて。米を

蒔て。もみとなし。穀ぬるを去
て。米とふし。こるを。又つき志
らげて。始て飯と。なまこを
得るなま。その時日を費し。人
力を竭きこと。以かばるるを
や

されば汝ら。食事にのぞまば。粒々辛苦に。以づることやをたもひて。あへて麓略よ。なすふとなあれ

新編 小學讀本第六畢

版權免許 明治十九年一月廿五日
再版御届 同 五月廿八日
校正三版御届 明治二十年一月十七日

定價金五錢五厘

編輯者 愛知縣士族 三尾重定

出版者 東京府士族 岩田富美

出版并發賣人 東京府士族 吉澤富太郎



本所區松井町三町早番地